

<愛光学園同窓会>

令和3年 理事会 議事録

- 開催日時：令和3年9月25日 18:00～19:10
- 開催場所：東京第一ホテル松山
- 開催方法：会場、ZOOM ミーティング 併用
- 出席者：別紙
- 議事録署名人：是澤 朗 理事、岡崎 充隆 監事
- 議事録作成者：森元 志郎 事務局長

< 開会進行：宮嶋副会長 >

1. 開会挨拶 (越智会長)

これより令和3年の理事会を開催致しますが、皆様ご多用の中、ZOOM 会議にご参加頂きまして誠にありがとうございます。本日は、コロナ禍で皆様方、大変ご苦勞されておられる中、状況も厳しいと思いますが、多数のエントリーを頂いております。また、同窓会総会が10月に開催されます。この同窓会総会も今回同様 ウェブを活用して行う予定にしており、後ほどエントリーの方法について説明致します。このような ZOOM で開催することで、これまで なかなか理事会、総会に参加しづらい方も参加頂けるのではとっております。総会についても広く皆様にご案内していきますので、定員 500 名という事ですが、全国、もしくは海外からも参加して頂けるのではと期待しているところです。同窓会活動は、この一年半あまり、こういう情勢下の中で、これまでのような活動を行えなかったという事ですが、この間にも運営サイドの方では、定例の会議については、ZOOM 等で着実にこなしてきております。今日は、この一年間の色々な報告事項、それから皆様にご審議頂く事項等がございます。大変貴重な時間でございますから、効率よく進めていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

2. 議長指名

越智会長が議長として指名されました。

3. 事業報告

宮嶋副会長より、以下の事業報告が行われました。

令和2年

9月26日 新型コロナウイルス感染拡大に伴い全理事会中止

10月24日 新型コロナウイルス感染拡大に伴い総会・懇親会中止
10月25日 新型コロナウイルス感染拡大に伴い第68回同窓会ゴルフコンペ中止
新型コロナウイルス感染拡大に伴い

京滋の会、関西支部、中部地区、九州地区、沖縄県支部、各同窓会総会中止

12月5日 関東地区同窓会総会（オンラインにて開催）

令和3年

1月2日 新型コロナウイルス感染拡大に伴いサッカー大会中止
3月1日 卒業生高校3年生(63期：252名)へ第12号同窓会名簿の配付
4月8日 新入生中学1年生(69期：209名)へシャーペン配布
新入生高校1年E組(66期：43名)へ世界地図配布

奇数月に常任理事会・偶数月に正副会長会

インテルノス、同窓会だより 作成

物故会員

旧教職委員 3名

卒業生 24名

各期理事報告

- ・新メンバー 63期：橋本 尚憲 理事
- ・理事変更 52期：三谷 尚輝 理事 から 服部 一生 理事 へ

外部講師（LOBバンク）

7回開催 すべてリモート開催

4. 決算報告

菊池副会長より当期の決算書について説明がありました。

今年度より前期を参考の数字として増減対比の形式にしました。

5. 監査報告

菅 監事より、決算が妥当であると認める。 と報告され承認されました。

（新型コロナウイルス感染拡大に伴い、メールで監査を行いました）

6. 事業予算

（1）新校舎建設・70周年キャンパス整備事業への同窓会からの寄付について

・現在までの寄付の状況（70周年記念事業担当 山澤副会長）

9月22日現在、同窓生からの寄付について、個人から9400万円、

法人から2000万円、合わせて1億1400万円ほどであります。

目標額が2億円という事で6割に満たない厳しい状況です。これは昨年からの新型コロナの影響で、寄付活動が低調となっている事も要因の一つと言えます。

・越智会長より

この間、創立70周年記念事業について、どのような形が良いのか、また、新校舎に対する貢献をどのようにすればよいのかという事で、色々議論をして参りました。その中で新校舎に対する寄付を昨年より同窓生の皆様をお願いしてきましたところ、これまで1億1400万円という大変貴重な浄財を頂きました。この場を借りて皆様にお礼を申し上げたいと思います。ただ、来年3月までの同窓会として目標としていた2億円には少し足りない状況です。それと過去10年間、60周年以降について70周年の校舎建て替えという大きな事業を想定しながら、同窓会としても前会長の時から、その資金として積み立ててきた額が、今回、皆様に承認していただきました決算書においての繰越金で、約5000万円程でございます。また、今後の事業活動についても、担当副会長の元、慎重に検討していただいておりますが、来年度以降も現状の事業の内容であれば、年間500万円程度の剰余繰越金が出て来るという事で、運営上はある程度余裕があります。このようなことから、常任理事会、正副会長会において、新校舎建設に対して今回出来る限りの寄付をしてはどうかという事で、4000万円の寄付をさせていただいたらと考えております。

→ 承認されました。

(2) 創立70周年記念事業費について

(山澤副会長)

事業委員会として、色々な事業を考えておりましたが、コロナ禍の影響で開催出来ておりません。ただ、来年10月には、最終的な第二期工事も終わり、学園としても70周年記念事業を行うという事です。同窓会としても、コロナの状況が中々好転しない中、大きな柱の一つとして、校歌をきちんとしたオーケストラや歌い手で録音し、学校や同窓会で使えるようにする記念事業を考えております。もう一つは、来年10月が目標ですが、新校舎が全て完成の折に、新キャンパスに同窓生を招いて記念式典が行なえないかと計画をしているところです。他にもいろいろな事業が考えられますが、来年2月にならないと、学校の使用出来る状況、予定が分からないという事ですので、申し訳ございませんが、この場で、具体的な内容、日付を申し上げられません。

(越智会長)

まだ、学校当局の正式な方向性が決まっていな中で、委員会からきちんとしたものは出せていない状況ですが、次年度 来年10月までの事業費として、同窓会予算の中からとりあえず1000万円の枠を確保しておきたいという事です。

→ 承認されました。

(3) 事業予算について

(菊池副会長)

従来、予算管理を厳密にはしてこなかったのですが、先ほどの（１）新校舎建設・70周年キャンパス整備事業への同窓会からの寄付、（２）創立70周年記念事業費、それぞれ二つの大きな支出が予定されており、新年度の会計について気になるところでしたので、ひとまず見込み的な予算案を作成させていただきました。

この予算並みに収支が動いた場合には、次年度末において、500万円程度の資金は確保出来るのではないかと見込んでおります。このような予算で、進めさせて頂きたいと思っております。

→ 承認されました。

7. 同窓会年会費免除について

（宮嶋副会長）

今、一期生の方は、80歳、81歳になられていると思いますが、我が同総会においてもそろそろ、ご高齢の方に敬意を払って、年会費の免除を行ってはどうかという話が、常任理事会、正副会長会で出てきておりました。そこで色々な協議を重ねてきた結果、ちょうど後期高齢者になられる75歳に到達された期の方は、原則として、年会費を免除するという案になりました。今回、承認頂きますと来年度からになりますから、8期以上の方は、年会費を免除させて頂くことになります。

これに伴い、愛光学園同窓会「会則」に下線の文を追加したいと思います。

（会員）

第3条 本会は、次の会員を持って組織する。

- （１）正会員 本学園卒業生及び在学した者で常任理事会の承認を得た者
- （２）特別会員 本学園の現・旧教職員

2 正会員は、所定の会費を納入する。

75歳(当該年度に75歳を迎える期)以上の方は、原則 所定の会費を免除する。

（原則と申しますのは、免除対象の方でも、払っていただける方のご厚意は喜んで受けさせて頂くという方針で進めて参ります。来年度からになりますから詳細につきましては、追ってご報告させていただきます。）

→ 「会則」の追加について、承認されました。

8. 慶弔見舞金規程の改定について

（宮嶋副会長）

「愛光学園同窓会 慶弔見舞金規程」について、下線の文字を追加したいと思います。

第4条 弔慰金等については、原則として次のとおりとする。

- （１）正会員(会費納入者) 弔電、供花(10,000円相当) 等
- （２）正会員(会費未納入者) 弔電
- （３）特別会員（会則第3条） 弔電、供花(10,000円相当) 等

(4) 特別会員家族(1親等) 弔電

(5) 役員等(会則第6条,9条) 弔電、供花(10,000円相当) 等

(6) 役員等家族 弔電

(コロナ禍も含め、昨今の葬儀事情の変化に伴い、会費納入されていた方等への供花が出来ないことが出て参りました。そのため、供花に変わり弔慰金やお線香等によって弔意を表せられるようにしたいと思います。)

(先ほど、承認いただいた会費免除の方々に付きましては、74歳時の会費納入の有無をもって判断させていただきます。)

→ 「慶弔見舞金規程」の追加について、承認されました。

9. 支部地区報告

(1) 関東地区 : 41期 山本 慎也 事務局会計幹事 より説明

(2) 関西支部 : 16期 石井 博章 会長 より説明

(3) 京滋の会 : 21期 是澤 朗 代表 より説明

(4) 九州地区 : 28期 竹井 正彦 副代表 より説明

(5) 中部地区 : 19期 森元 志郎 事務局長 より説明

(6) 沖縄県支部 : 23期 仲本 豊 会長 より説明

10. 各委員会報告

(1) 事業委員会 (山澤副会長)

同窓会総会について、本来であれば、10月の末に、皆様に集まっておいただき総会を開催するのが常となっておりますが、今年の新型コロナの状況では、とても従来の形ではできないと判断しました。同窓会総会を開催はしますが、ウェビナーを利用したウェブ上での開催とし、講演会、懇親会は中止と致しました。

[ウェビナーとは] (小倉副会長)

ウェビナーは、今使っている ZOOM の発展版で、基本的な操作はほぼ同じです。大きな違いは、参加者の上限が 500 名で、こちらが指名した方だけが発言できるという事です。いわゆる、ウェブ上のセミナーというものです。

申し込みは 10 月初旬に発送する「同窓会だより」の封筒に同窓会総会のウェビナー参加の要領を書いた文書を同封します。具体的には、同窓会ホームページに参加の入力フォームを作成します。その入力フォームに必要事項を記入の上、申し込んでいただきますと同窓会総会ウェビナーの URL や ID 等が自動受信で受け取れるような方式を考えています。

(2) 広報委員会 (小倉副会長)

「同窓会だより」も例年同様、大詰めを迎え、校了、印刷という段階に入っております。例年通り 10 月初旬発行の予定で進めています。今年の特徴としましては、学校の

「インテルノス夏号」の発行が、ずいぶん遅れた影響でほぼ同時期の発行となりました。そのため、年会費納入者には両方同封することになります。原稿については、新型コロナの影響もあり集まるかどうか心配していましたが、お陰様で思った以上に沢山集まりました。また、今回新校舎の完成もありましたので。その特集も加えたため、増ページとなりました。楽しみにお待ちください。

(3) 組織強化委員会 (野村副会長)

本年4月8日に「準支部規程」を制定し、追加させていただきました。

なお、この規程の追加につきましては、メール稟議により、理事会メンバーの皆様に承認いただいております。

準支部につきまして、申込みは同窓会ホームページからも出来るようになっております。

準支部の広がりにより、愛光学園同窓会のネットワークをどんどん作っていかうという趣旨ですので、皆様方のご協力をお願い出来ればと思っております。

11. その他

(1) 「創立70周年記念事業特別実行委員会」 (山澤副会長)

創立70周年記念事業の記念式典などは、来年、同窓会総会、懇親会など例年の日常が戻っていることを期待しつつ、来年の10月ぐらいが良いのではないかと思っております。ただ、この事業を行うにあたり、現体制が8月末までの任期になっております。任期を終えて2か月弱で新体制に引き継ぐのは、難しいという問題がありますので、70周年記念事業が終了するまで、現体制の「創立70周年記念事業特別実行委員会」を継続して、活動させていただきたいと思っております。

(2) 旅費規程、慶弔見舞金規程の改定 (森元事務局長)

本年3月に 愛光学園 慶弔見舞金規程

第2条 慶事については、正会員、特別会員の本人が叙勲などの社会的榮譽を授かった場合、祝電を贈り、また追加の祝意については、総務委員会で協議の上、会長が行い、常任理事会に報告することとする。

以上のように改訂いたしました。

なお、この規程の改訂につきましては、メール稟議により、理事会メンバーの皆様に承認いただいております。

(3) その他

12. 閉会挨拶（越智会長）

皆様、長時間にわたり、大変熱心な御議論、ご報告を頂きありがとうございました。
ZOOM で参加いただきました各期理事の皆様、また、遠方より参加の各地区・支部の代表の皆様、ありがとうございました。

先ほど報告もありましたように 10月30日には、同窓会総会の開催を予定しております。この総会もウェブを活用したハイブリッドの会合となりますが、今日ご出席の皆様は元より、もっと多くの皆様にご参加頂きたいと思っておりますので、皆様からも拡散をお願い出来ればと思っております。

それから、最後にもう一つだけお願い事になるのですが、先ほど来お話しております本学への寄付について、来年3月を目標にして進めております。大変、社会情勢厳しい中で心苦しい限りではありますが、もう一段、同期の皆様への声掛け等で、少し寄付を伸ばして頂くように皆様のお力をいただければと考えておりますので、どうぞ宜しくお願いします。

本日この会合の開催にあたりまして、機材の手配や設営等、東京第一ホテル松山、スタッフの皆様にご大変お世話になりました。お礼申し上げます、私の閉会の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

以上、理事会議事録について 議事録署名人が確認致しました。

議事録署名人 是澤 朗 [確認日：令和3年 10月 5日]

議事録署名人 岡崎 充隆 [確認日：令和3年 10月 6日]